

Remic Times

Vol.108
令和6年
3月号

戻りコンを捨てるなんてもったいない!!

現場で余った生コンは誰のもの!?

基本的には、ご注文いただいた量の生コンを、現場にお持ちしますので、荷卸し途中や手つかずでも、配達途中であっても、すべて施工者の所有物なんです。

しかし、もういらぬのに、現場に全量置いて行かれても、困りますよね。そこで、生コン工場は、持って帰るのですが、生コン工場だって、処理に困ります。(処分代を頂く場合があります)

代表的な処分方法は、固まってから、重機で小さく割り、**産廃**として処分です。これは、手間と、広い場所、そして莫大な費用が掛かり、資源の無駄です!

小さく割って、クラッシャーにかけ**RC碎石**とする方法もありますが、手間と場所、なによりも設備が無いとできません。

そこでおススメするのが、「路盤改良剤WA-21」です!

軟らかい生コンに、添加して混ぜるだけで、3~5分程度で路盤材が出来上がります。

使い方は簡単!

下の写真のように、プールを作り、生コンとWAを入れ、重機などで混ぜてください。5分程で、パラパラの状態になるので完成です。(以前は、戻りコンの入った生コン車にWAを投入して約3分攪拌する方法でしたが、ドラムの内部に付着してしまう事が多いため、最近はこちらをおススメしています。)

**WA-21**約250g入り
水溶性の袋入り
なので、そのまま
使えます!

この状態になれば、RC碎石として使用するにしても、産廃として処理するにしても、手間も場所も少なく済みます。(WA-21は、再生骨材としての使用は想定しておりません)

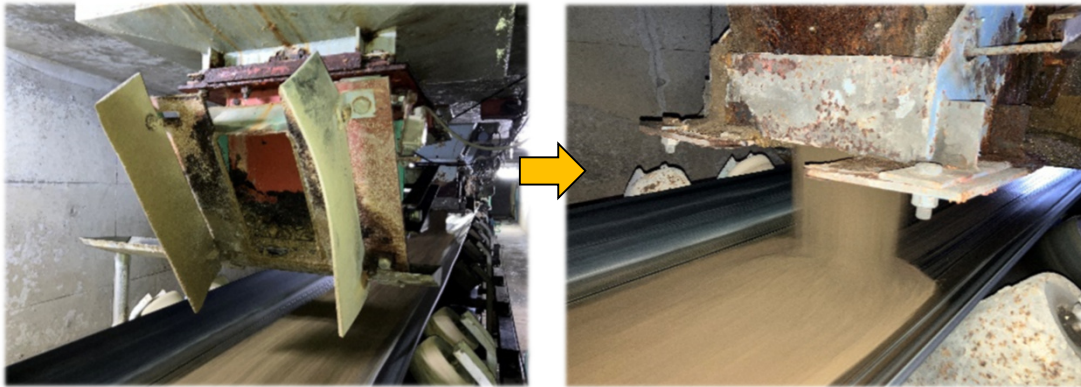
詳しくは、TEL:0575-28-4008または、
info@remic08.comまでお気軽にお問合せください。
右のQRコードから、WA-21を使用している動画が
ご覧になれます。



WA-21は、現場で使用することも可能です!現場で余った生コンをWA-21で処理して、埋め戻し材として使用することもできます!

生コン工場見学

前回ご紹介した、骨材ヤードの下は右の写真の様な感じです。
約50m程のベルコンがあり、ヤードの下には下の写真のようなゲートが各材料ごとに設置されています。



普段は、左上のようにゲートが閉じていますが、骨材を取り出したい時は、ゲートの穴が下に動き、右上のように骨材が落ちてきます。下のベルコンは動き続けているので、どんどん運ばれていく仕組みです。プラントの貯蔵ビンが満タンになる分の材料が出たら自動でゲートが閉まる仕組みになっています。

水平ベルコンで運ばれた骨材は、傾斜ベルコンに乗り換えてプラントの一番上のフロアまで運ばれて行きます。



プラント上部には、約15m³ほどの生コンが製造できるくらいの骨材が貯められる貯蔵ビンというものがあります。真ん中にシュートがあり、運ばれてきた骨材と同じ貯蔵ビンに入るように、シュートが回転します。この貯蔵ビンの骨材が減ってくると、自動で満タンになるように補給してくれます。

レミックマルハチ定休日 (赤字がお休みです。4月8日(月)はお休みです)

3月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

4月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

5月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	



株式会社 レミックマルハチ
〒501-3954 岐阜県関市千疋1088-3
tel 0575-28-2034(出荷)
0575-28-4008(総務・コンクリートがら・RC)
0575-28-6086(試験室)
fax 0575-28-3060(出荷)・28-3114(総務・試験室)
ホームページ <https://www.remic08.jp>

ホームページ
QRコード

